

文 教 科 学 委 員 会

委員一覧 (20名)

委員長	元 榮 太一郎 (自民)	高橋 はるみ (自民)	佐々木 さやか (公明)
理事	今井 絵理子 (自民)	竹内 功 (自民)	横山 信一 (公明)
理事	上野 通子 (自民)	丸川 珠代 (自民)	伊藤 孝恵 (民主)
理事	堂故 茂 (自民)	水落 敏栄 (自民)	片山 大介 (維新)
理事	宮沢 由佳 (立憲)	水岡 俊一 (立憲)	吉良 よし子 (共産)
	金子 原二郎 (自民)	宮口 治子 (立憲)	舩後 靖彦 (れ新)
	世耕 弘成 (自民)	蓮 舫 (立憲)	(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第208回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出3件及び衆議院提出1件(文部科学委員長提出)の合計4件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願18種類358件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

博物館法の一部を改正する法律案は、博物館の設置主体の多様化を図りつつその適正な運営を確保するため、博物館登録制度の見直し等を行おうとするものである。

委員会においては、博物館登録制度の見直しの意義、博物館に対する支援方策等について質疑が行われ、討論の後、採決の結果、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案は、校長及び教員の資質の向上のための施策をより合理的かつ効果的に実施するため、公立の小学校等の校長及び教員の任命権者等による研修等に関する記録の作成並びに資質の向上に関する指導及び助言等に関する規定を整備し、普通免許状及び特別免許状の更新制を廃止する等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、教員免許更新制に対する評価、新たな研修の在り方、教員が学び続けられる環境を整備する方策等について質疑が行われた。質疑を終局した後、日本共産党より、原案のうち、教育公務員特例法の改正部分を削除することを内容とする修正案が提出された。討論の後、順次採決の結果、修正案は否決され、本法律案は多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案は、我が国の大学の国際競争力の強化及びイノベーションの創出の促進を図るため、国際的に卓越した研究の展開及び経済社会に変化をもたらす研究成果の活用が相当程度見込まれる大学につき、国際卓越研究大学の認定、当該国際卓越研究大学による事業の実施に関する計画の認可、当該事業に関する国立研究開発法人科学技術振興機構による助成等について定めようとするものである。

委員会においては、国際卓越研究大学の認定プロセス、大学ファンドによる支援の内容、基礎研究の重要性等について質疑が行われ、討論の後、採決の結果、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

在外教育施設における教育の振興に関する法律案は、在外教育施設における教育の振興に関し、基本理念を定め、国の責務を明らかにするとともに、基本方針の策定その他在外教育施設における教育の振興に関する施策の基本となる事項を定めようとするものである。

委員会においては、在外教育施設への国の支援の在り方等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

3月3日、文教科学行政の基本施策について末松文部科学大臣から所信を、令和4年度文部科学省関係予算について池田文部科学副大臣から説明を、それぞれ聴取した。

3月8日、文教科学行政の基本施策に関し、地方の国立大学における人材育成や研究力の強化についての対応、子どもの意見表明権及び子どもコミッショナーに対する文部科学大臣の見解、特別支援教育におけるデジタル技術の活用やそれに伴う基準等の改定に係る検討状況、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の廃炉環境国際共同研究センター等を福島国際研究教育機構と統合する必要性、コロナ禍における子供の心の様態に関する調査の必要性、学校の臨時休業等に関する調査結果を今後の感染症対策に生かすための具体的な取組、コロナ禍における特例としてオンライン授業を通常の授業と同様に出席扱いとする必要性、障害のある子供のインクルーシブ教育に対する文部科学大臣の認識等について質疑を行った。

3月16日、予算委員会から委嘱された令和4年度文部科学省所管予算の審査を行い、「教育進化のための改革ビジョン」を踏まえた今後の学校教育の方向性、教員不足や教員採用倍率が低下する中で教員を目指す者を集めていくための方策、プラスチックごみ削減と環境教育の観点から学校において環境に配慮した副教材の普及を推進していく必要性、文部科学省予算の拡充に向けた文部科学大臣の取組、4月以降に入国する留学生が学生等の学びを継続するための緊急給付金を受けられないことに伴う支援策についての見解、高等学校における1人1台端末の整備を公費により行う必要性、重度訪問介護利用者の大学修学支援事業を児童生徒にも拡大することを検討する必要性等について質疑を行った。

4月5日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会後のスポーツ施策に対する文部科学大臣の所見、親の経済状況や教育への意識等により生じる子供の教育格差に対する文部科学大臣の認識、学校におけるALPS処理水のチラシ配布に係る政府の対応と事後検証の状況、海洋プラスチックごみ問題に対する文部科学省としての取組、ヤングケアラーへの支援に関する文部科学省としての対応、文理融合が必要とされる社会的な背景、コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業で不交付となった団体へその理由を明示する必要性、コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業のホームページの記載を改善する必要性等について質疑を行った。

4月21日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会後の国立競技場の運営管理の在

り方に関する検討状況、人工妊娠中絶等における女性の心身のケアに係る教育の実施状況、教員不足に関する全国調査の結果に対する文部科学省の認識と対策、部活動に関する大会・コンクールについて縮小・廃止の方向で見直す必要性、公立高等学校の入学者選抜における定員内不合格に関する実態調査の必要性等について質疑を行った。

5月12日、デジタル人材の育成に向けた取組、私立小学校において特別支援学級の設置を増やすための方策、ウクライナから避難した子供に対する就学支援の在り方、マスク着用に係る文部科学省の見解の自治体に対する伝達の在り方、教員の定数改善が不十分な状況下における教科担任制の本格的な導入の実現可能性、コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業の交付団体に対して補助金の返還を命じた理由、学校における医療的ケアにおいてヘルパーを活用する必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和4年3月3日(木) (第1回)

- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について末松文部科学大臣から所信を聴いた。
- 令和4年度文部科学省関係予算に関する件について池田文部科学副大臣から説明を聴いた。

○令和4年3月8日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について末松文部科学大臣、高橋文部科学大臣政務官、鰐淵文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

堂故茂君(自民)、宮沢由佳君(立憲)、宮口治子君(立憲)、横山信一君(公明)、伊藤孝恵君(民主)、片山大介君(維新)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

○令和4年3月16日(水) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和四年度一般会計予算(衆議院送付)
- 令和四年度特別会計予算(衆議院送付)
- 令和四年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(文部科学省所管)について末松文部科学大臣、鰐淵文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

竹内功君(自民)、水岡俊一君(立憲)、佐々木さやか君(公明)、伊藤孝恵君(民主)、片山大介君(維新)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和4年4月5日(火) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後のスポーツ施策に関する件、家庭環境と子供の教育格差に関する件、学校におけるALPS処理水の広報の在り方に関する件、海洋プラスチックごみ問題に対する文部科学省の取組に関する件、ヤングケアラーへの支援の必要性に関する件、文理融合を進めていくための方策に関する件、コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支

援事業に関する件、コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業に関する件等について末松文部科学大臣、池田文部科学副大臣、高橋文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

水落敏栄君（自民）、宮口治子君（立憲）、宮沢由佳君（立憲）、横山信一君（公明）、伊藤孝恵君（民主）、片山大介君（維新）、吉良よし子君（共産）、船後靖彦君（れ新）

○博物館法の一部を改正する法律案（閣法第31号）（衆議院送付）について末松文部科学大臣から趣旨説明を聞いた。

○令和4年4月7日（木）（第5回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○博物館法の一部を改正する法律案（閣法第31号）（衆議院送付）について末松文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

今井絵理子君（自民）、宮沢由佳君（立憲）、佐々木さやか君（公明）、伊藤孝恵君（民主）、片山大介君（維新）、吉良よし子君（共産）、船後靖彦君（れ新）

（閣法第31号）

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、維新、共産

反対会派 れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和4年4月21日（木）（第6回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後の国立競技場の運営管理の在り方に関する件、人工妊娠中絶等における女性の心身のケアに係る教育に関する件、教員不足への対応に関する件、学校における部活動の在り方に関する件、公立高校入試における定員内不合格に関する件等について末松国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

蓮舫君（立憲）、伊藤孝恵君（民主）、片山大介君（維新）、吉良よし子君（共産）、船後靖彦君（れ新）

○教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）について末松文部科学大臣から趣旨説明を聞いた。

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和4年4月28日（木）（第7回）

○教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聞いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

戸田市教育委員会教育長 戸ヶ崎勤君

教育研究家

合同会社ライフ&ワーク代表 妹尾昌俊君

中央大学文学部教授 池田賢市君

[質疑者]

堂故茂君（自民）、宮口治子君（立憲）、横山信一君（公明）、伊藤孝恵君（民主）、片山大介君（維新）、吉良よし子君（共産）、船後靖彦君（れ新）

○令和4年5月10日(火) (第8回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案(閣法第34号)(衆議院送付)について末松文部科学大臣、池田文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

上野通子君(自民)、勝部賢志君(立憲)、水岡俊一君(立憲)、佐々木さやか君(公明)、伊藤孝恵君(民主)、片山大介君(維新)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

(閣法第34号)

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、維新

反対会派 共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和4年5月12日(木) (第9回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- デジタル人材の育成方策に関する件、インクルーシブ教育の推進に関する件、ウクライナから避難した子供の学びへの支援に関する件、学校におけるマスク着用に関する件、小学校高学年における教科担任制に関する件、コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業に関する件、学校における医療的ケアの実施体制に関する件等について末松文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

上野通子君(自民)、宮口治子君(立憲)、佐々木さやか君(公明)、伊藤孝恵君(民主)、片山大介君(維新)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

- 国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案(閣法第35号)(衆議院送付)について末松文部科学大臣から趣旨説明を聞いた。

○令和4年5月17日(火) (第10回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案(閣法第35号)(衆議院送付)について末松文部科学大臣、田中文部科学副大臣、高橋文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

堂故茂君(自民)、上野通子君(自民)、宮沢由佳君(立憲)、横山信一君(公明)、伊藤孝恵君(民主)、片山大介君(維新)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

(閣法第35号)

賛成会派 自民、公明、民主、維新

反対会派 立憲、共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和4年6月10日(金) (第11回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 在外教育施設における教育の振興に関する法律案(衆第51号)(衆議院提出)について提出者衆議院文部科学委員長義家弘介君から趣旨説明を聴き、衆議院文部科学委員長代理田野瀬太道君、末松文部科学大臣、上杉外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

吉良よし子君（共産）、船後靖彦君（れ新）

（衆第51号）

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、維新、共産、れ新

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和4年6月15日（水）（第12回）

○請願第14号外357件を審査した。

○教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。